



豊 議員
糸魚川市内における
保育所の統合・民営化及び
小学校・中学校の適正規模・
適正配置等の考え方について

糸魚川市内における保育所の統合・
民営化及び小学校・中学校の適正規模・
適正配置等の考え方について

境の中で保育、教育が受けら
れるような保育所や小中学校
の適正な規模、適正な配置
等、次の点について伺う。

- ・ 市内保育所の官民格差
- ・ 保育所の統合、民営化
- ・ 児童生徒数の減少に伴う小
学校、中学校の適正規模、
適正配置等の今後の方針



実 議員
田原 議員
交流人口増大策の課題や
問題、ジオパーク事業の
費用対効果などについて

交流人口増大策の課題や問題
ジオパーク事業の費用対効果
などについて

て伺う。
また、これらの取り組みに
おける市長自身の評価を伺
う。

市長答弁

ジオパークの拠点施設での
入込客数は増加しているが、課
題としては、糸魚川ジオパーク

教育長答弁

保育所では、民営・公立とも
保育士の資質向上に取り組み
とともに、保育所保育指針に
基づき適切な保育を行ってお
り、保育内容については格差が
ないものと考えている。

統合、民営化については、庁
内委員会を設置し、適正な配
置や運営形態のあり方につい
て検討を進めている。

小中学校については、文部科学
省は12〜18学級を標準として
おり、当市もこの基準を適正
規模と捉えているが、当市とし
ては、小学校では当面は複式
学級の解消の方向を、中学校

の認知度の向上などが挙げら
れる。各種の誘客宣伝にも取り
組んでいるが、その検証結果を
早く得られるよう努めたい。

しかし、今までのイベント等
にジオパークを関連付けて、よ
り多くの事業を展開するな
ど、大きな経済効果があったも
のと確信している。ジオパーク
活動の推進は交流人口の拡大
や地域活性化の最良の施策と
考えており、引き続き事業の
推進に努めていきたい。

は市の地理的条件を考慮し現
状維持の方向を考えている。



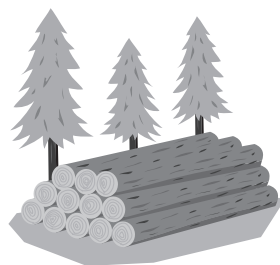
糸魚川市公共建築物等における木材の
利用の促進に関する方針について

質問

地場産材の利用促進による
地域振興、過疎化対策の効果
について、市の考えを伺う。

市長答弁

地場産材の利用促進によ
り、木材産業の振興と雇用創
出が図られ、地域振興や過疎
対策にも貢献できるものと考
えている。



地域防災の現状と課題、弱者救済の
行政責任、広域交流などについて

質問

避難場所や避難路に関する
地域からの要望の対応につい
て伺う。

また、災害時の要支援者へ
の対応、福祉・介護・医療施
設との連携、災害時の情報シ
ステム確保について伺う。

市長答弁

地域からの要望については、
対応可能な箇所から整備を進
めているが、今後、とりまとめ

をしたうえで計画的に対応し
ていきたい。

災害時に支援が必要な方
については、災害時要援護者避難
支援プランに基づき、地域への
情報提供とともに、福祉や介
護など関連する分野と連携し
た支援を行っていく。

また、情報システムについて
は、無線や衛星回線による情
報通信体制の多重化を図るな
ど、災害時の情報確保対策に
努めていきたい。



ぬーな



ジオまる

糸魚川ジオパーク
マスコットキャラクター